

## 令和2年度とちぎ夢ファーレ 実績報告書 (HP用)

団 体 名： 栃木農業高等学校 (グリーンバンクとちぎ)

代 表 者 名： 水野 喜崇

会 員 数： 67名

連絡先 (電話)：

メールアドレス：

団体 HP の URL：

### ○この活動を始めた動機 (目的)

一昨年度、本校に栃木市教育委員会から旧市役所別館 ((仮称) 文学館) の敷地内にある「タラヨウ」の世代交代への依頼がありました。この「タラヨウ」は、栃木市民の間から「ハガキの木」として長年親しまれ、市外からの観光客にも紹介されています。この樹木の保存活動への依頼をきっかけに、栃木市内にある歴史のある樹木を後世に残したいと考えました。また、これまで本校では研究活動において挿し木による樹木の繁殖に取り組んできました。そこで、この挿し木の技術を生かしてタラヨウを残し、栃木市民と高校生が共同して栃木市内の樹木を次世代へ引き継ぐ活動を始めました。

### ○実際に令和2年度に行った活動とその成果 (結果)

月	活動内容
4	タラヨウ採枝作業 (旧市役所) の実施
5	大平南小学校 (サクラ)、ゆうゆうプラザ (サクラ)、吹上小学校 (イトヒバ) の採枝作業実施
6	挿し木及び鉢上げ等の管理作業
7	旧市役所 (タラヨウ)、大平南小学校 (サクラ)、ゆうゆうプラザ (サクラ) の採枝作業の実施。挿し木及び鉢上げ等の管理作業
8	鉢上げ及び灌水等の管理作業
9	イベントの実施 (新型コロナウイルス感染症等により中止)
10	イベントの実施 (新型コロナウイルス感染症等により中止)
11	タラヨウ採枝作業 (旧市役所) の実施及び挿し木、鉢上げ等の管理作業
12	鉢上げ及び除草、灌水等の管理作業
1	鉢上げ及び除草、灌水等の管理作業

2	鉢上げ及び除草、灌水等の管理作業 タラヨウの苗木引き渡し式
3	鉢上げ及び除草、灌水等の管理作業

## ○良かった点や苦勞した点

### 【良かった点】

この活動を実施するにあたり、高校生が地域の方々と協働して活動を行う機会をつくることができました。これまで、本校で研究している巴波桜を挿し木によって殖やしていました。この研究で得た技術を、他の樹木にも応用し地域に貢献できる活動が行えたことは大変うれしく思います。

また、栃木市文化課の方々の協力によって、栃木市内の施設で残したい樹木を調査して頂くことができました。それぞれの施設に伺い、挿し木用の枝を採枝することができました。その後挿し木を行い、それぞれの苗木は定植できるまで管理している状況です。コロナ感染症対策によって、高校生が市民と共に挿し木を行ったり、苗木を育てていくイベントを実施することができませんでした。ただし、この活動のきっかけとなったタラヨウについては、(仮称)栃木市文学館においてタラヨウの苗木引き渡し式を実施することができました。そして、今後は栃木市のシンボルツリーとして、市民の方々に親しんでほしいと思います。グリーンバンクの活動の様子や苗木引き渡し式に関しては、新聞や広報誌で取り上げていただきました。学校 HP だけでなく、多くの方々の協力によって市民の方々に活動を周知することができました。

### 【苦勞した点や課題】

コロナ感染症対策により、活動の見直しが必要となりました。これまで計画していたイベントの実施や栃木市内での聞き取り調査等の調査活動が、コロナ感染対応に伴う臨時休校や自粛によって円滑に進めることが困難でした。市民と関わる活動を継続的に行うために、イベントや調査の方法をもう少し検討する必要があります。また、樹木は短期間で大きく成長することは難しく、樹木の更新ができるまで数年間は必要となります。樹木が後世に受け継いでいくような活動の計画へ見直しすることが大切だったと思います。

## ○これからの展望

今後は、栃木市民を中心に、市内にある歴史ある樹木に対して関心を持ってもらえればうれしいです。(仮称)栃木市文学館で長年親しまれてきたタラヨウは、腐朽し倒れる危険があったことから伐採されました。そこで、引き渡しを行ったタラヨウの苗木が順調に成長し、新たなタラヨウの木がシンボルツリーとして後世に残ってほしいと思います。



○その他：活動の様子



<タラヨウの採枝作業の様子>



<シダレザクラの採枝作業の様子>



<タラヨウの挿し木の作業の様子>



<イトヒバの挿し木の様子>



<鉢上げ作業の様子>



<タラヨウの苗木引き渡し式>